

パブリシティのしかた

みなさんこんにちは。今回は「新聞記事掲載」を活用したクラブのパブリシティについて考えてみたいと思います。

「クラブが新聞に載った！」と聞くと大変インパクトがあります。クラブが新聞に掲載されれば、クラブ関係者のみならず多くの方の目にとまりますし、クラブ自身の社会的地位がグンと上がったような印象を与えることができます。

「新聞に載るためには特別な取り組みをしないとイケないのではないか？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、必ずしもそうではありません。ある程度のコツをつかめば、クラブの活動を新聞記事に取り上げていただくチャンスは充分にあります。

以下では、「新聞記事掲載」の方法や課題などについて取り上げていきます。

1. 新聞記事掲載の経緯や方法、新聞社への情報提供の仕方について

クラブが黙っていても、わざわざ取材に来てくれるほど新聞社はヒマではありません。世の中にはたくさんの方のニュースがあります。であるならばクラブが積極的に新聞社に対して働きかけ、「取材したい！これはニュースになる！」と思わせるアクションをしなくてははいけません。

そのための方法として、以下の2つがあります。

- ① 「ニュースリリースの発行」
- ② 「新聞社への事業後援申請」

①「ニュースリリースの発行」とは取り上げてほしい内容をまとめた書面を新聞社宛に FAX 等で送付し、「クラブでこんなことやります。いいネタなのでぜひ取材に来てください」と投げかけるやり方です。

一方、②「新聞社への事業後援申請」とはイベントなどの事業を、新聞社後援事業として実施する方法です。事業後援申請は新聞社の HP 上から比較的簡単に行うこともできるようになってきています。

詳しくは新聞社 HP 等を参照してください。後援事業となることで、新聞の「本日の催し」等の欄に情報が掲載され、高い確率で事業の取材および記事掲載が期待できます。

「高い確率で掲載されるなら②の事業後援をとった方が得策だ！」と思われる方も多いかと思いますが、デメリットもあります。後援事業となることで、他の新聞社からは取材を受けることが難しくなります。

①のニュースリリースであれば、掲載確率は落ちますが、複数の新聞社に対して均等に情報を提供することができ、複数の新聞に記事が掲載される可能性もあります。複数紙に掲載されるということは多くの方の目に触れることにつながり、パブリシティの効果は高まります。

このようなメリット、デメリットを考慮すると、「このイベントは絶対新聞に載せてほしい、見てほしい人のほとんどが〇〇新聞を購読している。だから今回は〇〇新聞社に後援申請をしよう」とか、「クラブで4月から市内で初の有給常勤マネジャーを採用する。市内初ということでニュース性も高い。3つの新聞社にニュースリリースを出し、複数社から取り上げてもらえないか」など内容や性質に合わせて2つの方法を使い分けるのがうまいやり方だと言えます。

これら2つの方法に加えて、新聞社（記者）に直接電話で取材依頼をする方法もあります。

以前に何度か取材を受けたことがあったり、知人の紹介等の方法で人間関係があれば、可能な方法かと

思います。飛び込み電話での依頼であっても、クラブの地域での認知度が高ければ実現可能性はあるかと思いますが、新聞社側は、「どこの馬の骨ともわからない団体の電話で全て取材に行っていたらきりが無い」というのが大方の見方です。

ですので、初めて取材を受けようという場合の直接電話はあまりお勧めしません。ただし、関係が出来た後であれば、①や②の方法に合わせて電話で事業の情報を追加しておくことで、掲載可能性を高めるだけでなく、記事としての扱いも大きくなる場合があります。

2. 新聞社やメディアとのつながりづくりや日ごろの連絡方法

イベント実施時の後援申請のみならず、様々な切り口からコンスタントに新聞記事掲載を目指すためには、新聞社に対して日ごろからクラブの情報をまめに発信しておくことが重要です。

クラブが発行するプログラムや会報などを新聞社に送付することや、担当者となる記者の方と仲良くなって直接情報を提供するなどして、普段からクラブの活動に興味を持ってもらうことも大切です。

私自身も、地方紙の支局長の方とよく「ノミネーション」しました。学生時代から目をかけていただき、「県内初の常勤マネジャー誕生」ということで大きく記事掲載していただき、その後も定期的にクラブを訪れては「何かネタない？」と常に関心を持っていただきました。異動の際にも、次の担当者に「地元のおもしろい団体」として引継ぎを行ってくれました。

ただし、特定の新聞社とばかり懇意にしすぎると他社からの取材を受けにくくなるという側面もあります。複数社がシェアを分け合っている地域ではその辺りのバランスも考慮する必要があります。

3. パブリシティの留意点、課題など

記事掲載をするかしないかの決定権は新聞社にあり、クラブにはありません。「クラブ側が載せてほしい内容」ではなく、「新聞社が載せたい内容」である必要があります。新聞社はニュース性の高いネタを求めます。

「初めて」や、「他とはここが違う」といった部分でニュース性が高まります。

「自分達では当たり前すぎてニュースにならない」ということでも、少し目線を変えてみることでニュース性を高めることはできると思います。遠慮をせずどんどん情報を発信していくことで「どのように見せると取り上げてもらいやすいか」というコツもつかめてくるはずです。

ニュースリリースの作成例をつけておきますので参考にしてみてください（次頁以降参照）。実際に取材を受けることにつながったものです。

新聞に記事が掲載されることで、非常に広い範囲に対してパブリシティを行うことができます。ただし、1回限りの掲載では効果はすぐに薄れてしまいます。パブリシティは根気よく、繰り返し、継続的にやっていくことがクラブの認知度を上げていく方法です。

「事業の実施でも目一杯で広報まで手が回らない」というクラブが大多数だと思いますが、広報がなければ新しいメンバーがクラブに関わるきっかけが生まれません。事業の実施と広報を別々にとらえるのではなくワンセットで考え、きちんと継続して広報活動を行うことができる体制をつくることも大切なことです。

(西村貴之 石川県クラブ育成アドバイザー)

関連リンク：西村貴之氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/19.html>

平成21年7月4日
NPO法人クラブレッツ

総合型地域スポーツクラブ「NPO法人クラブレッツ」
実施事業に関する取材依頼について

平素より、弊法人の活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

弊法人は、スポーツを通じた地域づくり、ひとづくりを合言葉に、スポーツ活動のみならず、様々なコミュニティ活動を展開しております。

平成21年度からは、クラブレッツ改め、新生「NPO法人クラブパレット(名称変更申請中)」としてのスタートをしております。

厳しい時代背景を受け、暗いニュースが多い中、地域発の明るい話題を提供していきたいと思っておりますので今後ともお付き合いの程お願いいたします

今回は下記のとおり情報提供させていただきます。取材対応の程よろしくお願いいたします。

記

- 1 事業名：沖縄県の地域スポーツクラブ(NPO法人NSC)とのスタッフ交換留学研修事業
- 2 目的：両クラブの次世代を担う若手スタッフの人材育成と今後のクラブ間交流の促進
- 3 受け入れ期間：平成21年7月6日(月)～7月16日(木)
- 4 研修内容：クラブ運営全般、運動指導、会議出席、渉外への動向等

注目点：クラブ間での視察等、学生のインターンシップ受入はよくあるが、有給常勤スタッフ同士の交換は全国でも珍しい。

7月13日(月)午後には沖縄県のクラブから視察団3名もクラブレッツへ来訪。
かほく市での取り組みについて研修する。

NPO法人クラブレッツ事務局
〒929-1123 石川県かほく市森レ1番地
TEL：076-283-4411 FAX：076-283-4420
MAIL：club-lets@po4.nsk.ne.jp
HP：<http://po4.nsk.ne.jp/~club-lets>
担当：西村(クラブマネジャー)

平成 21 年 7 月 4 日
NPO 法人クラブレッツ

総合型地域スポーツクラブ「NPO 法人クラブレッツ」
実施事業に関する取材依頼について

平素より、弊法人の活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

弊法人は、スポーツを通じた地域づくり、ひとづくりを合言葉に、スポーツ活動のみならず、様々なコミュニティ活動を展開しております。

平成 21 年度からは、クラブレッツ改め、新生「NPO 法人クラブパレット（名称変更申請中）」としてのスタートをしております。

厳しい時代背景を受け、暗いニュースが多い中、地域発の明るい話題を提供していきたいと思っておりますので今後ともお付き合いの程お願いいたします

今回は下記のとおり情報提供させていただきます。取材対応の程よろしくお願いいたします。

記

- 1 事業名：学生ボランティアによる地域の青少年健全育成事業 「パレット教育学院」
- 2 内 容：夏休み中のこどもたちの、野外体験、学習体験、集団生活、思い出づくりの様々なニーズを学生ボランティアが中心となり企画・運営する。
- 3 実施期間：平成 21 年 8 月 3 日（月）～ 8 月 27 日（木） ※詳細別紙

注目点：学生たちが自己実現、自己表現の場を求めてクラブへ集まる。

ボランティア会議は 5 月よりスタート。現在も定期的開催。

単なるお楽しみイベントではなく、共稼ぎ世帯の夏休み中のこどもたちの預りも兼ねた、地域貢献活動となっている。

昨年度までは「レッツ教育委員会予備校」だったが、今年度からは「パレット教育学院」としてより広い活動範囲にグレードアップ。

NPO 法人クラブレッツ事務局
〒929-1123 石川県かほく市森レ 1 番地
TEL：076-283-4411 FAX：076-283-4420
MAIL：club-lets@po4.nsk.ne.jp
HP：<http://po4.nsk.ne.jp/~club-lets>
担当：西村（クラブマネジャー）